





フワッ

フワッ

ぽんっ

フワッ
フワッ

—
—
—







Fufufu

Fufufu

Fufufu

Fufufu

Fufufu

Fufufu

Fufufu

Fufufu



Fufu

Fufu

Fufu

Fufu

Fufu

Fufu

Fufu

Fufu



ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ







© 2023

© 2023

ちち=♡

ちち=♡

ちち=♡

「フハハ！入れ替わり成功！
お前の身体は俺の物だッ♡」

「なっ〜！ビビューの身体を返せッ！！」

「それは出来ねえな！
ずっと前からお前の身体、もとい石コレクタ〜
としてお前の魔石が欲しくてたまらなかつたんだよ！
おら！挿れるぞ！」



「おっほ♡
身体が小さすぎッ♡
ちんこが子宮までガッツリ届いてやがるッ♡」

「おん♡」

「ハッ
キョッ
ッ」

「やめてええ!!
私の身体でそんなこと…ッ!!」



「ダメでーす♡
身体を完全に馴染ませるために
お前の精液を吸収しなきゃいけないんでなw
んじやだまつで自分のまんこを犯されるのを見ててね♡」

「ふっふっ」



「そんな！絶対ダメッ！
んあっ♡身体が、熱いッ♡」

「あははは」

「あははは」

「んおおおおッ♡気持ちいいッ♡
ロリまんこセックス癖になっちゃうよおおッ♡
最高の器だなこれッ♡」

「あはは♡」

「あはは♡」

「あはは♡」

「あはは♡」

「あはは♡」

「あはは♡」



「そんな！絶対ダメッ！
んあっ♡身体が、熱いッ♡」

「ほおおッ♡やべ、イキそうッ♡
おら！変態野郎！イケッ！」

「アッ」

「アッ」

「ッ?!
だ、だめッ!
イクッ、イクイクイクッ♡」

「あ♡」

「あ♡」

「IP
チュッ♡」

「IP
チュッ♡」

「IP
チュッ♡」

「IP
チュッ♡」



「ハア…ハア…♡へへへ、流れてくる♡
お前の精液が俺の隅々まで行き渡るの
がわかるぞ…♡
この身体は完全に俺の物だー♡」

♡♡♡

おま♡♡

おま♡♡

♡♡♡

「嘘…そんなあ…ドビュウの、身体が…」



「あ、変態のおじさん♡
キモいし、ここに置いていくね♡
それじゃ、素敵な身体をありがとね♡」

♡♡♡

おま♡♡

おま♡♡

♡♡♡

「嫌あああッ!!
待って、行かないでッ!!」

